

# 令和6年度 磐田市立豊浜小学校 学校評価書

◆学校教育目標(はまぼう学府教育目標)…「互いを認め 未来をともに創る子」の育成

○成果 ●課題 ※今後の手立て

重点	目標・取組	評価指標(学校評価結果)	評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
関「わかった」「わかった」を実感し、学び続ける子	○小規模校の良さを生かしたきめ細かな指導及び基礎・基本的な学習内容の定着 ・豊浜っ子の学習 ・家庭学習の充実	授業の内容がよく分かる： 90% (94%)	A	○児童、保護者ともに8割以上が肯定的な結果となった。単元始めのガイダンスや、振り返りの時間を確保することで、「できた」「わかった」を実感できた児童が多く見られた。基礎・基本的な学力の定着については、該当学年の学習内容を確実に身に付けられるよう、校内研修や授業改善を行っていく。 ○対話活動を充実させる一つとして、IGTを授業で効果的に活用できた。さらに対話活動をより良いものにするために、語彙を増やし「聞く・訊く」を意識した授業づくりをしていく。 ●夏休み期間中も自分の目標を立てることで、自分が決めた課題に意欲的に取り組む児童が多かった。一方で、日頃の家庭学習の取組については、差が感じられた。家庭との連携も大切であるが、自主学習(チャレンジノート)の方法を見直したり、児童が自分で学びを調整できるようにするための方法を検討したりしていく必要がある。 ※豊浜ベーシック授業を基に、「わかった」が味わえる授業を積み重ね、基礎基本の学力を伸ばすことができる手立てを講じていく。	・「できた」「わかった」を実感できていることを評価する。 ・小規模校の良さが結果に表れている。授業では、教師の目が行き届き、集中している児童が多い。 ・家庭学習では、親の寄り添いが重要だと考える。親子、学校のコミュニケーションに期待する。
	○「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくり ・豊浜ベーシック授業 ・ICT機器の活用)	自分の考えを友達に分かりやすく伝えたり、相手の考えを聞いたりしている：85% (93%)	A		・学年に関係なく全児童が仲良くしている姿が微笑ましい。登校時には、しっかりと挨拶したり、上級生が下級生を見守ったりしている姿が見られる。 ・言葉の使い分けは、家庭や地域に大きく影響されると考える。学校だけでなく家庭内の日々の生活の中で意識して教えていくことが大切。
自分や友達を大切に協力する子	○気持ちの良い対応力の育成 ・挨拶、返事、言葉遣い ・豊浜っ子のくらし ・心のアンケート	友達のことを考えて行動できる：90% (95%)	A	○縦割り活動や外部の方との交流を意図的に実施し、いろいろな立場の人と関わることで、互いを認め合う姿が見られるようになってきている。地域や家庭に支えられ、児童が安心して学校生活を送ることができている。 ●場に応じた言葉の使い分けについては、保護者、教職員ともに評価が低く児童との認識に差がある。しかし、学校全体で意識をすることで、丁寧な言葉遣いを心がけている児童も見られるようになってきた。あいさつ、言葉遣いについては、ASDKを使った家庭との連携が今後必要である。 ※自分自身を振り返る時間を十分に設定することで、自分の良さについて考えられるようにする。自分を大切にすることで、他者をも大切にすることを育て、互いに気持ちよく生活できる術を身に付けていけるようにしていく。	・自己肯定感の低さが気になる。日々の振り返りの中で、前進するきっかけに児童自身が気付くよう指導してほしい。友達のことを考えて行動できることは、自分の良さでもあるということが、認識できるとよい。自尊心を向上させるために、児童のよい行動を共有し、褒め言葉をたくさん掛けることが大切。
	○児童の主体的な活動を価値づけ、任せて認める指導 ・学級活動、委員会活動 ・縦割り活動	自分にはよいところがあると思う：90% (85%)	B		・「学校が楽しくない」と感じている6%の児童への目配り、心配りをお願いしたい。
自ら考え行動する子	○目標に向かって粘り強く運動する体育指導 ・運動会、なわとび集会	運動や行事などに、自分の目標をもって最後まで取り組んでいる：90% (94%)	A	○運動や行事に取り組む際に、学級や個人の目標を立てたり、振り返りカードを活用したりすることで、自分の伸びや自己肯定感を感じることができた。 ○毎月の保健指導から、健康への意識が高まっている。レジリエンスも少しずつ理解が深まっている様子がある。健康5か条の結果については、家庭とも共有することで、達成率を上げていきたい。 ○避難訓練後に、振り返りを取り入れたことで、児童の防災意識を高めることにつながった。 ※今後も家庭と連携して健康教育を進められるようにしていく。また、防災に対して自分ごととして取り組めるように、内容の工夫や地域との連携を継続していく。	・「健康5か条」は、健康意識の啓発以外にも活用してほしい。 ・災害に備えて、自分の身を守るように避難訓練を行い防災意識を高めてもらえるとうれしい。
	○健康や防災に対する関心を高める保健・安全指導 ・健康5か条、避難訓練	健康5か条を意識して生活している：90% (87%)	B		・地域との関りが多く、学校側が地域を快く受け入れていることが、子どもたちにも伝わっている。児童は、地域の方々の関わりの中で体験し経験を積むことで、ふるさと豊浜を愛する心が育っている。
		災害時や緊急時に、自分の身の安全を守るための方法を知っている：90% (94%)	A		・地域の防災訓練に、児童が積極的に参加できるとよい。夏休みの防災学習は、子どもも参加してくれ、内容の濃いものになっている。
学信校頼づさくれる	子供の安全を最優先にして教育支援を行うことで、子供が安心して主体的に活動できる	・学校が楽しい:95% (94%) ・子どものことを理解して指導にあたっている:95% (92%)	A	○児童は、地域の方々との関わりの中で体験し経験を積むことで、ふるさと豊浜を愛する心が育っている。今後もHPや公開授業で、学校の様子を公開しつながりを深めていく。 ○危機管理マニュアルの修正・改善、共通理解を行うことで、教員の安全意識も高まっている。今後は、学府全体でも児童生徒の安全についての共通理解を図っていく。 ※さらに豊浜のよさを生かした学校教育活動が充実するように、GSCとの連携を大切にしていく。また、保護者や地域の方々にも本校の目指す教育について伝えるように工夫していく。	・小規模校の良さや豊浜の地域性を最大限に活用し、今後もより良い豊浜小を目指してほしい。 ・学習準備や授業外事務で年々忙しくなる先生方の心と体の健康を大切にしていきたい。 ・HPでは、日々の活動の様子がよく分かる。

## 学校関係者評価を受けてのまとめ

- ・小規模校のよさを生かした教育活動を評価して下さる方が多い。今付けるべき力を確実に定着できるよう、授業改善に努める。
- ・学校評価の結果や学校運営協議会の結果を受け、児童は、「地域の宝」として地域に温かく見守られ、支えられていることが分かる。学校・家庭・地域の連携を大切にし、ふるさとを愛する心を育てていく。
- ・園から中学校までの一貫教育の推進に向け、児童、家庭、地域の声を大切にしたり目的や取組みに関する情報を共有したりして、理解を深めていく。